

七飯町地域公共交通計画（案）の意見募集実施結果について

- 意見募集案件名 七飯町地域公共交通計画の作成
 - 参考資料の名称 七飯町地域公共交通計画（案）
 - 参考資料の閲覧及び入手方法
 - （1）役場本庁舎 2階政策推進課
 - （2）大中山出張所
 - （3）大沼出張所
 - （4）七飯町ホームページ（ダウンロード）
 - 意見の提出方法
 - （1）持参（役場本庁舎 2階政策推進課、大中山及び大沼出張所）
 - （2）郵便（〒041-1192 七飯町本町6丁目1番1号 七飯町政策推進課地域活性係宛）
 - （3）ファクシミリ（0138-66-2054）
 - （4）電子メール（seisaku@town.nanae.hokkaido.jp）
 - 募 集 期 間 令和4年9月6日（火）から令和4年10月6日（木）まで
 - 担 当 課 七飯町政策推進課
 - 意 見 提 出 数 24件
 - 町の考えを公表する件数 22件
- ※意見の提出があった24件の内2件は、当該案件に直接関連のない意見だったため、町の考えを公表することは差し控えさせていただきます。

No.	意見の概要	町の考え方
1	<p>・計画が継続性も重視し、町の将来の変化も考えていることが分かり、安心しました。唯、財政的な面で苦しい状況なため、具体化した時に内容に即したものになるか心配です。</p> <p>具体的な意見</p> <p>①免許返上した後、買い物、病院に行くことに不安を感じています。中型のバスなどで週2回位本町や桔梗方面に定時に往来できる交通手段か、デマンドで乗り合わせて移動できることが望みです。</p> <p>②近い所でもタクシーを利用しなければならない所は補助が出ると年金が減り、物価が上がっているのを助かります。</p> <p>上記の事は車を持たない人には必要だと思います。</p> <p>・歩行が大変な年齢、体になった時は②かデマンド型が必要になると思います。</p> <p>※常に何か行ったら反省し、不利でも町民に知らせ、協力を呼びかけていくことが信頼されると思うので、前述の事を基本にがんばって実現してもらいたいです。</p>	<p>本計画の各施策の実施に当たっては、内容に即したものとなるよう財政状況を考慮しながら進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策並びに区内を巡回する路線定期型運行及び路線不定期運行（デマンド型交通）などの運行態様を含め、検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
2	<p>本町地区に住んでいるので、買物、郵便局、役場など、徒歩25分位で移動出来るが、高齢者なので少しの上り坂も大変になりつつあります。冬場はバス停まで行くのに転倒が心配で行動しづらくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（実施してほしい地域交通） <p>バス停まで15分位かかる。本町（桜町団地）4条通りに町バス停をもうけコミュニティバス（近くを走る）を利用し、大沼、大中山と自由に移動し、又、アップル温泉も行ってみたい。</p> <p>行動範囲が広がる事で元気に過ごすことが多くなるかと思う。</p> <p>又、大沼観光さんが空港まで3便往復していますが、これはとてもありがたいと思っています。</p> <p>空港で1時間待っても、まっすぐ乗りかえなく七飯まで帰れるのでうれしい。料金も安いので助かる。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、巡回バスなどの運行態様を含めた検討・実施を進めてまいります。</p> <p>大沼交通様が運行されている大沼～函館空港シャトルバスのような自治体間を跨ぐ広域的な移動につきましても、確保・維持に努めます。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
3	<p>七飯町地域公共交通計画（案）を読みました。</p> <p>1, P 6 4 の望ましい公共交通のあり方について大沼地区となっていない。</p> <p>2, P 7 0 施策実施内容を見ていると、令和4年度中にハイヤー運賃負担軽減策の実施を目指すがあるが、令和12年（2030年）の北海道新幹線札幌延伸を考えると並行在来線問題も視野に入れるべきである。</p> <p>3, 大沼地区を見捨てたやり方に賛同できない。</p> <p>4, ライナー存続の経費もはっきりしない中、残すと新聞に記事になっていたが、理解できない。</p> <p>5, あり気の議論では、良いものではないと思う。</p>	<p>ご意見いただきましたとおり、P 6 4 の大沼地区の意見交換会の開催結果概要について、次のとおり修正いたします。</p> <p>修正前「◎<u>大川・大中山地区</u>の望ましい公共交通のあり方について」</p> <p>修正後「◎<u>大沼地区</u>に望ましい公共交通のあり方について」</p> <p>以上のとおり修正いたします。</p> <p>北海道新幹線並行在来線に関しましては、北海道及び七飯町を含む沿線自治体で構成する北海道新幹線並行在来線対策協議会において協議されております。本協議会の結論がまとめ次第、本計画においても結論に基づく内容を反映させる必要があると考えております。</p> <p>本計画の計画区域は七飯町全域を対象としており、本計画の基本方針である住民・事業者・行政の連携・協働のもと、町が主導的に具体的な施策実現に向けて、より使いやすく、持続可能な公共交通網の形成を町全域で進めてまいりたいと考えております。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
4	<p>七飯町の現存の公共交通は、JR、函館バス、タクシーなど、結構充実しているように見えるのですが、実際に使おうとすると、ちょっと不便を感じてしまいます。大きく2点あると思います。</p> <p>①最寄りの駅・バス停まで行くのが大変。</p> <p>歩ける人は問題ないでしょうが、持病があったり、歩行がやや困難な人にとっては、悩ましいところ。巡回しているバスか車があるといいな、と思います。タクシー券もいいのですが、お金がかかりますね。</p> <p>②自動車でないといけない施設までの足の確保</p> <p>温泉などに行きたくても、車がないため、あきらめてしまう人もいます。施設が車を運行してくれると安心ですが、なかなか個人の要望には応えてもらえませんので、上記同様、巡回してくれる車があるといいですね。</p> <p>家の中に引きこもらず、自分の足で移動して生活したいと思っているお年寄りがたくさんいますので、それに応える公共交通を望みます。</p> <p>追伸：ていねいに細かな資料を作成していただきありがとうございます。わかりやすかったです。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は地形的にJR駅及びバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く居住しており、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策及び巡回バスなどの運行態様を含めた検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
5	<p>私個人としては、今のところ交通難民というほどの困難を感じていないが、84才という年齢を考えると運転免許証の返納をいつにするか常々考え、以降の交通手段はどんな事になるかの不安はある。</p> <p>この度、すでに作成されている町の『地域公共交通計画（案）』を拝読したところ、以前から将来的な交通手段はどうあるべきか（？）等について住民との対話及び各地域ごとの事情等々、様々な観点から検討されている事がわかりました。</p> <p>自身でも色々考えてみたりしてきたが、結論というほどの明快な答えは出せずにいる。自身は国道脇に住んでいるので、国道を行き交う高齢者の大変そうな様子を再三見ているので、交通弱者の姿も度々見ては、“大変そうだなあ”と感じている。独り暮らしの方が、バス停まで行くのに買い物かたで車（？）を杖として利用しながら利用している人、高低差のある舗（歩）道を電動車に乗ってゴミ出しに来たりする姿を見る度に辛い気持ちになる。</p> <p>町としては、「住民の足を考える会」と同様な方向で検討されているようなので、出された結論に納得するしかないと思っている。坂の町と言われるほどの七飯町だけに、全ての人が納得できる方式など、自分としては考えが及ばない。なので、出された結論に従い、それ以降のことは自身で補足するしかないと考えている。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>これから本計画の基本方針である住民・事業者・行政の連携・協働のもと、町が主導的に具体的な施策実現に向けて、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
6	<p>七飯町は4つの地区でそれぞれ特色があり、地域住民の要求も異なりますが、高齢者の独居世帯・夫婦世帯など、自前の交通手段のない人達が年々増加しているのが共通の問題です。</p> <p>バス停やJRの駅まで歩いていくのは大変であり、さりとていつもタクシーを利用するのでは家計がもたない。役場や郵便局、病院、買い物、友人との交流、趣味の会の集まりなど普通の生活をし、人生を楽しむための外出は、どんな人にとっても欠かすことのできない最低の条件であると思う。この条件を満たしてこそ、引きこもりを防ぎ、ひいては健康寿命を伸ばすことにつながると考えます。</p> <p>私も含めて多くの人達が望むことは、自分の都合の良いとき・なるべく自分の家から（できなければごみステーションなみの近いところ）で乗り降りでき、しかも可能な限り適正な安い料金で利用できる交通手段が実現することです。</p> <p>多岐にわたる地域の要求を同じ条件で解決することは到底無理であり、まず困難を抱える地域からモデル的に実施し、きちんとした年次計画をたて、他の地域に広げていってはいかがでしょうか。その中で検証を重ねながら、七飯町にふさわしい交通体系ができあがれば、すばらしいことと思います。</p> <p>交通手段については、バス路線や停留所の新設、小型のコミュニティバス</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であること、また、地形的にJR駅及びバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く存在していることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>バス路線及び停留所の新設、小型のコミュニティバス、タクシーの活用等に関しましては、これから本計画の基本方針である住民・事業者・行政の連携・協働のもと、町が主導的に具体的な施策実現に向けて運行態様を含め、検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>施策の実施に当たっては、より多くの方に地域公共交通をご利用いただくため、広報及び町ホームページ等を活用した情報発信を行い、周知徹底に努めてまいります。</p>

の運行（最低、週3回程度、デマンド形式も含めて検討）、タクシーの活用（デマンド形式・タクシー券）などが考えられるが、利用者の大半が高齢者であることが予想されるので、実施にあたっては、利用方法の周知徹底が必要と考えます。

最後に苦言を一つ。七飯町では、かつて時間をかけて検討し、計画がでたにも係わらず、予算の確保ができないために、計画が白紙撤回されたものがありました。一つは今取り組んでいる交通手段の問題であり、いまひとつは図書館建設の問題です。同じ轍を踏むようなことがあれば、町民からの町に対する信用の失墜は大きなものになります。

いろいろと制約のある中での取り組みで大変でしょうが、今度は実現すると期待していますので、よろしく願います。

No.	意見の概要	町の考え方
7	<p>私、個人の立場での要望です。</p> <p>○私は、現在83才、夫も同じ歳です。今のところ夫が主に町内で、車の運転をしており、2年後に免許証を返納する予定です。それで、その後の町内の移動手段が必要だと考えています。（5年後は88才になる）</p> <p>○目的は、病院、役場、文化センター、郵便局、買物等で週2～3回位、巡回バス（小型でボンゴ車など）があればよいと思います。七飯町は、国道5号線を中心に上下に長い坂道が続き、高齢者にとってそれが大変です。</p> <p>○90才になると、バスに乗るのも、大変だと聞いておりますが、90才を過ぎても、月1～2回は、郵便局や役場、買物などで、町に出る事が必要だとも聞いており、90才以上の高齢者には、月2往復分のハイヤー補助券を出していただけないものかと思えます。（ハイヤーの初乗分だけでも）</p> <p>※町からいただいた交通計画書は、専門用語が多く難解で多量で、高齢者は、見ただけで畏縮してしまいます。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、アンケート調査を実施し、その回答の中で、運転免許保有者の約4割の方ができる限りずっと運転したい意向であり、今後高齢者が増加する中で交通事故のリスクが高まる懸念され、自動車に依存しなくてもより公共交通網の形成が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策及び巡回バスなどの運行態様を含めた検討・実施を進めてまいります。</p> <p>本計画の基本方針にあるとおり、住民・事業者・行政が連携・協働していくことが必要であることから、本計画をより多くの皆さまにご理解いただくため、概要版を作成するなど、創意工夫してまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
8	<p>1) 現在、私は80才で自家用車を運転しておりますので、週3日程度、函館市の方に病院に通っておりますので、3年間は車を運転できますが、それが出来なくなった場合、病院に通う手段が自動車か函館バスしかありませんので、函館に通う交通手段のバス等の利用を増やしてほしいと思います。</p> <p>2) 3年後は車の運転が、できなくなりますと、大沼公園などに散策に出かけることが不便になりますので、それらの交通手段を増やしてほしい。以上</p>	<p>本計画を作成するに当たって、アンケート調査を実施し、その回答の中で、通院等において、七飯町内だけでなく、函館市も生活圏として確立されていること、また、バス乗降調査において、七飯町と函館市間の移動が多くを占めていることから、七飯町と函館市を結ぶ広域的な移動手段の継続した維持・確保が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策④広域的な移動の確保に向けた町内交通と広域交通の接続強化に向けて、町内交通とバス停等の接続を強化し、自治体間を跨ぐ広域的な公共交通の確保・維持に努めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
9	<p>自分が免許を返納したら、自宅から幹線（バス、JR等）までの交通の整備を考えてほしい。もしくは、目的地までスムーズに行ける事（自家用車のように）が理想。</p> <p>地域公共交通として様々な形態が考えられるが、各地域の実態に合ったものを実施してほしい（説明会では、実施しても見直しは必要との話でしたが）</p> <p>今回は4会場での説明会があったが、参加者は町民のほんのわずかで町民全体に町の考えの把握や公共交通計画が浸透したとは考えられない。</p> <p>役場全体で町内会ごとの説明を行なうなど本当に困っている人の声をききとってほしい。また公共交通を使おうと思う意識向上のためにも、もっとひんぱんに説明会を行うべき。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、アンケート調査を実施し、その回答の中で、「自宅近辺から目的地の近くまで行くことができる」といった交通を望む割合が高い傾向にあり、バス停や駅といった交通結節点から自宅までの移動手段（ラストマイル交通）の検討が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策の検討・実施、また、施策⑥住民及び事業者との継続的な意見交換機会の創出で検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
10	<p>私は運転免許がありません。 病院や買い物は、すべてバス、J Rを利用してあります。今は健康で歩いてバス停まで行けますが、この先は、どうなるかわかりません。 J Rの駅も徒歩20分かかります。 新しい交通手段は戸口から戸口へ行ける物を希望します。 バス停までも、冬場は道路が狭い為危険です。バス停を巡るバスを走らせても、何の変わりもありません事を知って下さい。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は地形的にJ R駅及びバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く居住しており、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。 いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象とした戸口から戸口へ行ける手段であるハイヤーの運賃負担軽減策の検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
1 1	<p>基本方針を読むと、どんな交通網ができるのか、七飯町はどうなっていくのか楽しみです。</p> <p>1. 方向性①施策②について 全町一斉に、でなくていいので、対策を急ぐ藤城、峠下、大沼地域について、早急に何らかの具体的な公共交通を実施してほしい。たとえば、沼っ子の活用をもっと拡げて藤城や峠下でも活用できるようにするとか、町内ハイヤーの活用でも良い。とにかく、バス停までいく方法と、生活関連施設を利用できるように実証してほしい。実施後、よりよいものをつくるために、住民の意見をききながら検証してほしい。予算を明確にしてほしい。</p> <p>2. 方向性③施策⑥「継続的な意見交換機会の創出」は是非実施してほしい。情報は、すみやかに、様々な方法で。</p> <p>3. 住民の意見、声を生かすことに力を入れてほしい。</p>	<p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策②本町市街地までのより利便性の高い移動手段の確保の実施において、藤城・峠下地区及び大沼地区から本町市街地までの継続的な移動手段を確保に向けた検討・実施、また、施策⑥住民及び事業者との継続的な意見交換機会の創出の検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・私は鳴川高台団地に住んでいます。健康の為に町内の買物や病院等は歩く様にしていますが、冬場は路面凍結して、何度と転びそうな危険な事が有ります。 私の理想としては、団地からマリア幼稚園に行く、角の周辺にロードヒーティングがあったら、転ぶ危険もなく安心して歩けます。 ・町内以外の買物等は公共交通（バス）の直通がない北斗市のイオンや業務センター等に行くバスがあると便利です。 ・愛知県の郊外の方では100円バスが走っています。1時間に1本位のペースだと思います。七飯町にもあったら大変助かります。 ・余談ですが、沢山の資料作成するのは大変な事だと思いますが、読むのも大変、理解等は全ては無理でした。もうすこし、簡潔明瞭にしてくれたら、理解しやすいと思いました。 	<p>本計画を作成するに当たって、アンケート調査を実施し、その回答の中で、買い物等において、七飯町内だけでなく、函館市も生活圏として確立されていることから、広域交通による北斗市を含めた近隣自治体へのアクセスの維持・確保が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、地区内を巡回する路線定期型運行及び路線不定期運行などの運行態様を含めた検討・実施を他市町の事例を踏まえつつ、進めてまいります。</p> <p>本計画の基本方針である住民・事業者・行政が連携・協働していくことが必要であることから、本計画をより多くの皆さまにご理解いただくため、概要版を作成するなど、創意工夫してまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
13	<p>高台団地に住んでいます。今はまだ車で仕事に行っていますが近々仕事を退いた時は車をはなそうと思っています。そうなるとすぐ歩きとなり、坂の多い土地柄、大変な思いをしなければなりません。住んでいる方々も高齢者です。</p> <p>一日も早く巡回バス等の試運行をお願いします。</p> <p>バス停は2ヶ所ほど設けて下さい。(団地内に)</p> <p>買い物、病院、駅に安心して行きたいです。</p> <p>お願いします。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、巡回バスなどの運行態様を含めた検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
14	<p>週1で来てくれると助かります。 (乗り合いバス) 無料ではなく、往復¥200円とか？ 買物難民です。</p>	<p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、地区内を巡回する路線定期型運行及び路線不定期運行などの運行態様を含め、検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
15	<p>車の運転する事が出来ない方が団地内で半数近くに今後成ります。</p> <p>5号線より高台にあり、2回位休みながら登って来ます。</p> <p>冬道は特に大変です。</p> <p>団地入口までバス等が循環し通る時間をきめて、止まる様にしてほしいです。</p> <p>役場、駅、銀行、郵便局、スーパー等を通してほしいです。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は地形的にJR駅及びバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く存在しており、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、巡回バスなどの運行態様を含めた検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
16	<p>現在も膝の痛み筋肉の衰えあり苦痛ですが、すごしています。</p> <p>団地より坂道が多い為大変です。</p> <p>新函館北斗駅が出来てからは、役場、病院、買物など行くバスが少なくなつて不便です。</p> <p>町営のバスか、コミュニティバスが通るとうれしです。ぜひお願いします。冬道は大変です。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、巡回バスなどの運行態様を含めた検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
17	<p>●この計画（七飯町地域公共交通）が実施までには、相当時間がかかることが予想されます。実証実験をしながら可能なことから実施してほしいです。実際問題として、坂の町七飯町に住む住民としては、自分の家から坂道を登ったり下ったりしてバス停や駅まで行くことが大変です。高齢者や困っている方にはタクシー券配布や交通の補助を望みます。</p> <p>●アンケート調査と住民説明会について</p> <p>①15歳以上の方対象に3000世帯へアンケート調査したとの事ですが、この方法だと実態（町民が本当に困っている事、このようにしてほしい事）が、わからないと思います。年代別、男女別、世帯別（単身世帯、家族世帯）に調査すると良いと思う。</p> <p>②住民説明会は4会場で実施されましたが、私が参加した会場では自分で来れる人たちでした。一番困っている人（高齢者、車のない人）は参加できてませんでした。誰もが参加しやすい方法を考えてほしかったです。（例、町内会単位で行うとか）そうすると、多くの町民の声が反映できると思います。</p>	<p>本計画の施策として、ハイヤー運賃負担軽減策等の新たな移動手段の検討・実施していきます。</p> <p>本計画の推進に当たっては、対象地域、対象者、事業周知、必要に応じた説明会、関係事業者との調整等が必要となり、スケジュールについても、本計画に記載のとおり時間を要するものとなっております。本計画の施策事業につきまして、検討・実施を迅速に進めてまいりますので、ご理解くださいますよう、お願いいたします。</p> <p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策について、検討を進め、本格的な実施前には、実証実験を実施してまいります。また、アンケート調査及び住民説明会の方法につきましては、今後実施する際の参考にさせていただきます。</p> <p>これから本計画の基本方針である住民・事業者・行政の連携・協働のもと、町が主導的に具体的な施策実現に向けて、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
18	<p>先日は33系統バスで20日間ほど病院通いをしましたが、報告書にありますように通学の為の増便実現に努力された由ご苦労様でした。まずは此の度の資料を作られた役場担当者様にご苦労様と感謝を申し上げますと思います。</p> <p>自分は本町住まいで恵まれた所に住んでいます。しかし年齢80近くになるとやはり買い物、病院は自家用車が貴重な手段であることを痛感します。夏場はともかく冬場は歩いて転ぶ危険が高く、なら車の方がより安全という考えから高齢者ではあっても免許証の自主返納はまだまだという気持ちです。本町に住んでいて比較的バス停、JRに近くてもそんな実情です。</p> <p>しかし現実問題、車を手放すことになる日も近いと思います。その場合は、個々の家庭と公共交通の停留所の間を相乗りの形で送迎して頂くパイプ（交通手段）が欲しいということです。町内会では月に一度ですが社協による買い物ツアーを実施しています。この原型をもっと頻度を高くし、分野も買い物に限らず病院、通園・通学等々とパイプが広がり実現するといいと夢見ています。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、アンケート調査を実施し、その回答の中で、運転免許保有者の約4割の方ができる限りずっと運転したい意向であり、今後高齢者が増加する中で交通事故のリスクが高まることが懸念され、自動車に依存しなくてもより公共交通網の形成が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策並びに区内を巡回する路線定期型運行及び路線不定期運行（デマンド型交通）などの運行態様を含め、検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
19	<p>内容をよく読んで考えてみましたが、私からなにも言う事はありませんでした。</p> <p>よくできていると思いました。</p>	<p>計画作成について、評価いただきありがとうございます。本計画の推進や課題解決に向けては町だけではなく、住民及び交通事業者等の様々な方のご理解、ご協力により取組を行っていくことも重要であると考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
20	<p>○私の家は旧国道で、J R 桔梗駅からも歩くには不便に感じられる場所です。又、旧国道ですが、バスの運行が多くはなく、又、5号線方向にお店がありますが、多少不便に思っています。ただし今は自家用車を利用していますが、車を手離れた時に、不便になることが予想される。</p> <p>○町内での移動についても、バスの便も良いといえない。縦の移動と横の移動が、現在では連絡されているとはいえない。</p> <p>○函館が夜に帰ってくる時（8時すぎでは）バスの便もなく、J Rで帰ってくるのですが、最初に述べたように歩くしかない。町内での移動はもちろんの事、J R（桔梗、大中山の駅）からの便があると良いなと思う。</p> <p>○今回の意見を聞くという姿勢が、大変重要だと思います。行政と一緒に町民の利用しやすい交通体系を作れば良いと思います。</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は地形的にJ R駅及びバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く存在しており、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策並びに地区内を巡回する路線定期型運行及び路線不定期運行（デマンド型交通）などの運行態様を含めた検討・実施、施策④広域的な移動の確保に向けた町内交通と広域交通の接続強化に向けて、町内交通とバス停等の接続を強化し、自治体間を跨ぐ広域的な公共交通の確保・維持に努めてまいります。また、施策⑥住民及び事業者との継続的な意見交換機会の創出の検討・実施を進めてまいります。</p>

No.	意見の概要	町の考え方
	<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図3-11の町内の公共交通カバー率（H27）について、藤城・峠下地区の値が最も低くなっている理由はどう考えればいいですか。また、大沼地区では今年になってJR駅が3駅も廃止されていますが、それはカバー率に影響を与えますか。教えてください。 ・64ページの町内意見交換会の開催結果概要の「大沼地区」のところで、◎大川・大中山地区に望ましい…とあるのは◎大沼地区に望ましい…の間違いと思われ、修正願います。 <p>意見</p>	<p>30ページの七飯町内における公共交通カバー範囲の状況につきまして、H27国勢調査の人口及び勢力圏人口データを活用しておりますが、令和4年3月に廃駅となった3駅（池田園駅、流山温泉駅及び銚子口駅）が無いものとしてカバー率を算出していることから、ご意見を踏まえ、次のとおり修正いたします。</p> <p>修正前「<u>H27</u>カバー率」 修正後「カバー率」（H27を削除）</p> <p>全体の約7割の住民が公共交通を利用できる環境にある中で、藤城・峠下地区は半分以上の住民が公共交通を利用しにくい環境にあり、他の調査結果を踏まえた中で、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であること、また、地形的にJR駅及びバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く存在していることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>どのように考えるべきかという点に関しましては、本計画の施策②本町市街地までのより利便性の高い移動手段の確保の実施において、藤城・峠下地区及び大沼地区から本町市街地までの継続的な移動手段を確保に向けた検討・実施を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>64ページに関しましては、ご意見いただきましたとおり、大沼地区の意見交換会の開催結果概要について、次のとおり修正いたします。</p> <p>修正前「◎大川・大中山地区の望ましい公共交通のあり方について」 修正後「◎大沼地区に望ましい公共交通のあり方について」</p>
21	<p>1 まず、「地域公共交通計画」への意見募集ということですが、今回の作業はまだ「基本方針」の段階であり、ある程度概念的・総論的な意見にならざるをえないと思います。そのため、このあと、計画案が「基本方針」からステップアップして、具体的な計画へ作り上げられる段階で、適宜、今回と同様な町民意見の照会や先日の意見交換会のような機会をつくって欲しいし、そうすべきであると思います。</p> <p>2 以下①から⑧の施策に沿って意見を申し述べます。</p> <p>施策① 移動支援の手段を「既存公共交通」を利用することを検討の</p>	<p>どのよう</p> <p>64ページ</p> <p>修正前</p> <p>修正後</p>

<p>条件にしていますが、当面の検討の進め方としては致し方ないかなと思います。ただそれでは検討の選択肢がごく狭いものになってしまうのではないかと心配です。「コミュニティバス」やデマンド型交通の検討を「中長期的」としていますが、なるべく早めに行なう必要があるのではないのでしょうか。なお、利用者の運賃負担軽減は、計画には欠かせないものと思います。</p> <p>施策② 「沼っこ号」を公共事業化することが提案されています。現在の沼っ子号は、無料、週2回、定員7名、完全予約制、コースは大沼交通本社前から本町各所、大沼からの行き1便・帰り2便、本社から利用者の自宅への無料送迎つき、という内容で運行されていますが（これらは「沼っ子号」運行開始時のチラシから）、この運行内容のどれを継続/変更して事業化するのか、もう少し詳細な計画案が欲しいと思います。公共交通としての事業となれば、現行のように送迎も含めて「無料」とはならないのは当然ですが、どれだけの利用者負担が想定されるかなども知りたいです。負担が少ないに越したことはないので、広大な大沼地区を考えれば、大沼公園中心部に出発点を限定せず、ある程度地域を回って出発/帰着することで、利用者がバスにアクセスする距離を少しでも短くして、かつ費用の負担も軽減できるのではないのでしょうか。また、今以上の利用者にするためには、週2回や定員7名も考えていく必要があります。予約制は差し迫った利用には</p>	<p>本計画の推進に当たっては、対象地域、対象者、事業周知、必要に応じた説明会、関係事業者との調整等が必要となり、スケジュールについても、本計画に記載のとおり時間を要するものとなっております。本計画の施策事業につきまして、いただいた各施策へのご意見を踏まえつつ、これから本計画の基本方針である住民・事業者・行政が連携・協働のもと、町が主導的に具体的な施策実現に向けた検討・実施を迅速に進めてまいりますので、ご理解くださいますよう、お願いいたします。</p>
---	--

障害となります。少し考え始めただけでもこれだけの問題が出てくるのですから、具体的な計画が固まりつつある段階で、さらにしっかり地元の要望とすり合わせて下さるようお願いいたします。

施策③ 「計画」の中に位置づけるのも良いですが、個別の要望として（「計画」の進行とは離れても良いから）運行主体と話し合って実現を図っても良いのではないのでしょうか。大沼ではそれほど場所に問題があるようには思えません。

施策④ 通勤通学時間帯も必要でしょうが、日中の閑散時間帯も少しは考慮してもらいたいと思います。

施策⑤ 新函館北斗駅を経由する一般バス路線を維持するという方針ですが、その必要性は果たして大きいのでしょうか。地域住民が新幹線を利用する頻度よりは、七飯本町や函館方面へ出かけるほうが明らかに多いでしょう。そのため例えば大沼からの路線バスが10分あまり遠回りするのは、駅に用事のない乗客としてはやや耐え難いものがあります。新幹線利用者には大沼交通のシャトルバスの利用をすすめるなど、日常の利用と特別な利用で役割分担を考えるのはいかがでしょうか。

施策⑥⑦ そのようにお願いしたいと思います。また、その機会を利用して、増便による利用者増を働きかけたいものです。

施策⑧ 昨今の計画推進からは当然行なわれるべきでしょう。ただ、徒に目標の数値化による評価を行なうのではなく、あくまでも町民の利

<p>用に際しての利便性や費用負担などについての具体的な意見もふまえるようお願いしたいと思います。</p> <p>その他</p> <p>今回の計画案を見ると、基本的な説明や各種調査にかなりの労力や費用をかけていて、資料の大半のページもそれに割かれています。しっかりした計画のために欠かせない作業とは存じますが、この先、町民の要望に応えたと評価される計画とならなければ、なんというか「羊頭狗肉」というか「竜頭蛇尾」というか、ともかくそうならないよう頑張りましょう。</p> <p>以上です。</p>	
--	--

No.	意見の概要	町の考え方
2 2	<p>横津山系の裾野が大野平野に落ち込む傾斜地。南北に長い行政地域。この特性は交通網を造り易いと思われるコンパクトシティにはなりづらいでしょう。ですから、他地域に比し、交通網整備に苦勞することが前提になります。だからこそ、この課題解決が出来れば、この先進地モデルになり、同時に移住を呼ぶことになると思います。</p> <p>大沼、峠下地区等ではタクシー会社等の協力があり、一定の効果が表われて喜ばれている場面もあるようです。勿論、さらに向上してもらいたいと思います。</p> <p>ここでは、大中山、大川、本町地区とその周辺の高齢者の足確保にシボって考えました。この地区の公共交通空白地帯に路線バスを巡回させてほしい。定期運行で時刻表に基づくやり方です。デマンド運行はどうしても、利用者が申し込む時、気持が重くなる傾向があると思います。函バス所有のうち1台を専属にもらうことは、理想ですが、それがかなわなければ町有バス1台を増してはどうでしょう。経費の一部を各町内会費の1%~2%を拠出してもらうことは出来ないでしょうか。停車位置は、全庁的に職員が意見を寄せ合い、町有バスで仮想運行を重ねて位置を決めることもできるでしょう。その時、町民との意見交感の機会があるでしょう。その後は住民説明会も。</p> <p>アップル温泉に通い易くする配慮も良いと思います。通院とくらべ</p>	<p>本計画を作成するに当たって、調査した際の問題点として、当町は傾斜地が多く、JR駅及びバス停までのアクセスにおいて、徒歩や自転車による移動が不便であること、また、地形的にJR駅及びバス停までのアクセス距離が遠い町民が市街地にも多く存在していることから、各地区の特性を考慮した利便性の高い公共交通導入が必要であることを課題として認識しております。</p> <p>いただいたご意見に関しましては、本計画の施策①各地区の特性を踏まえた移動支援・負担軽減策の実施において、日常生活の足の確保が必要な高齢者などを対象としたハイヤー運賃負担軽減策並びに地区内を巡回する路線定期型運行及び路線不定期運行（デマンド型交通）などの運行態様を含めた検討・実施を進めてまいります。</p>

<p>て、趣向性が高く、要望しづらいものですが、健康と精神衛生を高めます。賛同を得られるかもしれません。</p> <p>私達を取り巻く現代社会状況は、痴呆症が減っていくことは無いでしょう。そのことは、高齢者運転の交通事故が増えていくこととなります。事故を未然に防ぐためにも、高齢者免許返納の動機付けが必要です。バス路線整備がその動機のひとつになります。町民の生命を守る。このコンセプトを役場は協調してほしいと思います。</p>	
---	--